



第4号

平成17年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 菅野吉三

印刷 株式会社丸井工文社

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会報

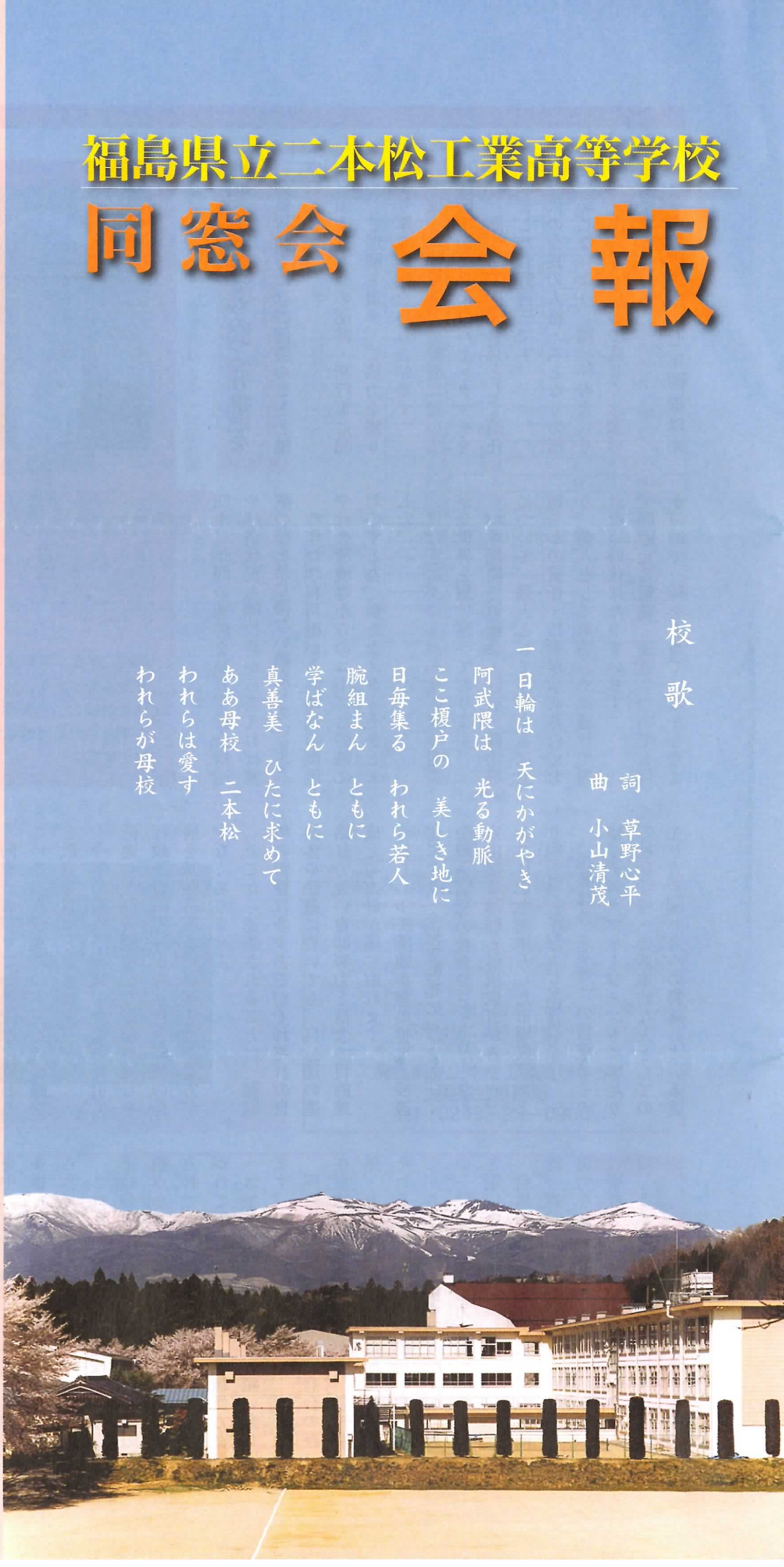
校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す
われらが母校

CONTENTS

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
前会長回顧録	4
実習棟改築記録	5
同窓会だより	6
母校だより	8



同窓会会長挨拶



菅野 吉三

プロフィール

昭和42年度卒業機械科4期生
三菱ふそうテクノメタル(株)勤
務労働組合活動及地域の小・中
学校の育成活動等世話役活動
を継続中

地域との連携でものづくり推進を

会員皆様方にはご健勝のことと推察致します。

日頃より本会の運営・諸行事に関して、ご理解を頂き、ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

平成十六年度同窓会総会に於いて佐藤昭次前会長よりバトンタッチを受け、歴史ある同窓会長として選任されました菅野吉三です。

歴代の会長の人格・人となりの伝統に恥じないよう、精一杯努力しその任に邁進しますので宜しくお願い致します。

松工は昭和三十七年開校以来

四十二年間の軌跡を辿り、社会構造や経済状況も開校時から考えれば覚醒の感を禁じ得ない激変しています。昨年は学科再編がされ時代の潮流や社会環境等からのニーズに的確に対応する為、新たなスタートをしました。

世は正にグローバル化と言う言葉が全世界を駆け巡っております。

地球規模での社会・経済・政治等について、個人として存在する以上何らかの責任・行動が求められており、個人として無感心では避けて通れない時代になっています。

同窓会の組織・運営についても何が目的で、何を求めているかを今ま

で以上に真摯に考え、過去の実績を尊重しつつ、前向きに果敢な行動が必要と日増しに思うところです。

四十二年間の歳月からは数多くの会員を輩出し、地域や中央においても「産・官・学」等の分野で活躍をされている現況下にあります。

同窓会の誇りであり校歌に歌われている「真善美」の本質追求の賜物と敬意を致すところです。

今年の景気予測は、今迄の長引く低迷した経済環境から好転の兆しを行政及経済界等から、世界経済の発展を基盤に明るい展望を抱く見方が少なくありません。

そこから連想されることは、諸環境の影響は多少あるがそれぞれの自治体や企業に於いても、自分達の進路は力強い自助努力と信念で目的達成との方針が感じ取れます。

新しいIT関連事業の推進・浸透化により、全世界何処にいても株式・金融・流通等の投資やコントロールが、自由競争論理と信用取引からキャッシフローを主体とした市場原理により取引等が進んでいる現状です。

「企業はひとり」の言葉はその様なデスクマネージメントに事足りる社会環境への基本的な人としての在り方や関り合への警鐘している言

葉と信じます。

いろんな科学・社会が発展しても司さどるのは「人でありその財産」で、「人財」と読み替え定義とする現われでもあります。

加えて、近年「地方分権・地方の自立」と言われており、「産・官・学」を中心とした地域との共生・共創が多様な分野で、必要性の認識が深められています。

これからは、松工の開校以来今日迄社会の環境変化や地域との連携の観点からも、ニーズに適合する教育方針であり、今後とも連綿と受け継がれて行くものと信じ、教職員方々へは生徒への教育実践をお願い致します。

同窓会運営としても、同窓会の存在意識を十分認識しながら、学校関係・PTA関係・それに松工生徒等それぞれの関係構築を維持・改善しながら、横の連携を図り松工の発展の一助となる様努力をして参りたいと願います。

会員皆様方におかれましても、同窓会運営に対して今後とも宜しくご協力をお願い致します。皆様方のご健勝を祈りあいさつと致します。

学校長挨拶



秋山 功一

プロフィール

いわき市出身。専門教科 英語。喜多方高、小名浜高、勿来高、遠野高、県南教育事務所、勿来工高、いわき海浜自然の家、湖南高を歴任され、平成14年4月本校に着任、現在に至る。趣味は自然散策（観察）。生活信条「凡事徹底」。著書『花ある記』

「近況報告」

同窓会の皆様には本校教育発展のために、日頃から何かとご協力ご支援を賜り感謝申し上げます。また、皆様には松工同窓生として、各地で様々な分野で立派に活躍していることに対し心より敬意を表します。

お陰様で、本日ここに第四十一回卒業式を迎え、新たに同窓生を送り出すことになりました。社会に出て何よりも頼りになり、支えになるのは同窓生の先輩たちでありますので、仲間入りをする後輩たちに、是非温かいご支援のほどよろしくお願い

いたします。

今年度は、松工が他の工業高校に先駆けて、新しく取り組んだ学科改編後の第一期生が入学しました。彼らの活躍が学科改編後の松工発展の鍵を握っているものと期待をしているところです。教職員も各々意識を高めて、自己研修を図り、ステージを高めて適切に指導することが求められていることは言うまでもありません。

実習棟の改築も現在進めているところです。七月に電気・電子実習棟を解体し、その場に延べ面積三千二百五十一平米、二階建ての実

習棟を一期工事で立てる予定です。

地盤改良工事が終わり、現在基礎工事を行っているところです。今年十一月末には完成し、その後、機械・土木の実習棟を解体し、そこに延べ面積三百三十一平米の平屋建ての実習棟を二期工事で平成十八年度までに、全て完成することになっております。新しくなる実習棟は中央に通路、その両側に実習室が配置され、それに通路部分が二階まで吹き抜けになっております。自然採光を十分に取り入れ、更に材料等にもエコロジーを考えた、今までの実習棟にはない新しい取り組みをしております。今から完成が待たれるところであります。

次に、本校の校歌は、著名な詩人である草野心平が作詞し、昭和三十九年八月五日に制定されたことは皆様も承知しているところでありますが、最近、心平の一九六四年の日記からこの時の様子が書かれているのを知ることが出来ましたので紹介します。

八月三日 上野発9・37 a m、第二松島で二本松行。郡山駅でダッセン事故あって三時間半遅れる。二本

●●●松商高の校長その他迎えてくれる。学校を見る。(傍点の部分は心平の勘違い) 岳温泉東館宿泊。校長、フク校長、PTA会長などと夕食。涼しい。テレビなどのあるいい部屋、岳も変わった。芸妓なども来る。相当のむ。

八月四日 今日是一日ばんやりすることにする。一寸外へ出たが暑いので帰る。玩具類買う。食欲あり、昼飯も食う。校歌を考えるが出来ない。夜、きのうの芸妓ひよつこりやってくる。

八月五日 くるときこりたので、指定席学校にたのむ。一等なし、二等の指定席で白河下車、(数行省略)(二本松二五時五〇分発。それまでに校歌を書きあげて校長に渡す。)

学校の顔である校歌を作詞した時の様子が伺い知れて、大変感動いたしました。生徒諸君にもこの話をしてこの素晴らしい校歌を大きな声で歌う、しかも校歌を愛する生徒になってほしいと話をしたところで

す。
終わりに、同窓会の益々のご発展を母校へのご支援をお願いします。

前会長回顧録



佐藤 昭次

プロフィール

昭和41年度卒業・土木科2期生。
10年間の県職員生活を経て、現在
株式会社佐藤組代表取締役社長。
総合建設業として、道路、河川、
下水道、建築などを施工。“地域
と共に生きる”を大切にしながら、
社員と共に、鋭意努力中！

「目標は日々チェック」

昨年の総会において四年間努めさせていただいた同窓会長を菅野新会長にバトンタッチしました。

卒業後、学校とは全く縁の遠い自分でしたが、地元に住んでいて、また比較的時間が自由に調整できるだろう……と、ある日会の役員に、なっ

てほしい旨の話がありました。当時、軽い気持ちでお受けした次第です。以来、二十数年間微力ながら、会の運営に参加させていただき

先生方をはじめ会員の皆様や多くの関係者には大変お世話になりました事、心より御礼申し上げます。

本校はすでに四十数年が経ち、この間には多くの関係者の努力で数々の歴史を築いて来ました。現在も新しい実習棟の完成に向けて着々と進められています。後輩達はこの近代的な素晴らしい設備のもと、優秀な技術者の卵として育まれ、そして巣立っております。松工が多くの方々より支えられ、この地域においてなくてはならない学校として益々発展されます事を心より願っております。

す。

さて、昨年は様々な事がありました。温暖化によるものでしょうか？地球的に起きている異常気象や、自然災害の凄さをまざまざと見せ付けられました。最近頻繁になっっている様に感じられます。

又、世の中の景気はと言えば、地方ではまだまだ回復感薄く、今もって低迷状態が続いており、先の見透しは不明瞭です。

新たな年に入り何か良い事への期待に、夢が大きく膨らむのは私だけではないと思います。

私事になりますが、今年の仕事のスタートにあたり、社員にことし一年間の目標、抱負を聞いて見たところ、高齢化でしょうか？心も体も健康第一で仕事をするが一番多く、次に初心に帰って仕事をする。と言うことでした。何事においても目標を持つと言うことは大切なことです。

全体を見ながら毎日を過ごす、こつこつと続けることで目標を意識し結果的に、自分の到達目標に近付い

ていることに気付くでしょう。

工夫して所々に貼っている人もいます。毎日見る手帳にコピーして入れている人もいます。

その結果についてはいろいろありますが、会社であれば決算書、学校であれば通信簿であり就職率、進学率になって表われるかと思っています。

人生の目標、仕事の目標、家庭あるいは趣味など、いろいろありますが、日々チェックし常に気にする環境は、その目標達成に近づく早道になるかと思っています。一年に一回は見直し、しかも新年にあたり家族自分の成長を確認することも、相応しいことかと思ひまして、年始めに話をしました。

ところで皆さんは、ことし一年の目標は立てたでしょうか？是非、立てることをおすすめします。

同窓生皆様方の御活躍と、本校同窓会の益々の発展を祈念し、合わせて今日までの御礼を申し上げ挨拶いたします。

実習棟改築記録



2004.07.09.
実習棟内



2004.07.09.
実習棟解体前



2004.07.09.
実習棟荷物引越し



2004.07.22.
実習棟解体



2004.08.02.
実習棟解体

解体



2004.07.21.
実習棟解体準備

解体準備



2004.07.21.
実習棟解体準備

工事



2004.08.05.
実習棟解体



2004.08.19.
実習棟解体後のさら地



2004.11.30.
基礎部分の工事



2005.01.20.
基礎部分の工事



2004.11.30.
基礎部分の工事

同窓会 だより

同窓会入会式

第四十回同窓会入会式は二月二十九日、母校体育館で行われました。佐藤同窓会会長より次の皆さんが幹事に任命されました。よろしくお願い致します。

機械科A組	根本 裕基
機械科B組	丹野 昌幸
電気科	大内 和樹
電子科	阿部 遼平
土木科	菅野 誠
工業デザイン科	朝倉 直美



総会報告



平成十六年度同窓会総会は、秋山校長先生方々のご臨席を賜り、九月十一日(土) ウエディングパレスかねすいで行われました。

収支決算・予算は下記のとおりです。役員改選において永年会長でありました佐藤昭次氏が退任され、菅野吉三氏が新任されました。また、副会長の野地勇雄氏が退任され、丹治茂雄氏と大内正人氏が新任されました。それに伴いまして、監事に菊地清義氏と佐藤智子氏が、会計に齋藤実氏が、理事に丹野武志氏が新任されました。

平成16年度 同窓会収支予算書

1 収入の部 2,180,000円

科 目	15年度予算額	16年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,070,000	1,075,000	5,000	215人×5,000円
入 会 金	398,000	400,000	2,000	200人×2,000円
雑 収 入	442	80	△ 362	預金利息等
繰 越 金	410,558	704,920	294,362	
計	1,879,000	2,180,000	301,000	

2 支出の部 2,180,000円

科 目	15年度予算額	16年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	230,000	230,000	0	役員会、同窓会総会
行 事 費	100,000	100,000	0	入会式
通 信 費	100,000	120,000	20,000	ハガキ、切手
会 報 費	400,000	400,000	0	会報発行費
慶 忌 費	80,000	80,000	0	香典、その他
記念品費	250,000	250,000	0	卒業記念品(バインダー)
後 援 費	300,000	400,000	100,000	激励金、広告、くろがね祭
事業積立金	300,000	350,000	50,000	
事 務 費	100,000	220,000	120,000	事務用品、データ入力費
予 備 費	19,000	30,000	11,000	
計	1,879,000	2,180,000	301,000	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長に限り各科目間において流用することが出来る。

平成15年度 同窓会収支決算書

1 収入の部 1,863,564円

科 目	15年度予算額	15年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,070,000	1,055,000	△ 15,000	211人×5,000円
入 会 金	398,000	398,000	0	199人×2,000円
雑 収 入	442	6	△ 436	預金利息
繰 越 金	410,558	410,558	0	前年度繰越金
計	1,879,000	1,863,564	△ 15,436	

2 支出の部 1,158,644円

科 目	15年度予算額	15年度決算額	増 減	備 考
会 議 費	230,000	64,030	165,970	役員会、総会
行 事 費	100,000	15,750	84,250	入会式
通 信 費	100,000	30,000	70,000	ハガキ、切手
会 報 費	400,000	215,060	184,940	会報発行
慶 忌 費	80,000	25,000	55,000	香典、その他
記念品費	250,000	187,824	62,176	卒業記念品
後 援 費	300,000	109,000	191,000	激励金、広告
事 務 費	100,000	11,980	88,020	事務用品
予 備 費	19,000	0	19,000	
事業積立金	300,000	500,000	△ 200,000	
計	1,879,000	1,158,644	720,356	

3 残額 704,920円



同窓会会報の第二号で掲載しました記念碑について、平成十四年十月二十八日(月)大安日に役員の皆様の出席を賜り除幕式を行なうことができました。

創立四十周年同窓会記念事業 校訓碑の建立

松工野球部OB会発足

昨年(H16.6.19)野球部OB有志が集い、OB会が発足いたしました。

本会は、松工野球部員の資質の向上並びに競技力の向上を図るため、物心両面にわたり援助を行い、たくましい人間形成を図ることを目的に設立いたしました。

1月末の現在の会員は約100名となっており野球に理解のある方なら野球部OB以外の方でも特別会員として入会することができます。

本年の野球部のすばらしい活躍をご期待申し上げます。

1期生 連絡先 会長 秋山孝雄 0243-22-4737
10期生 副会長 安斎恵光 0243-22-4690
16期生 事務局 安斎邦衛 0243-23-3588



11. 9の現役生徒とOB会の交流試合

平成16年度役員

役職	氏名	卒業年度	学科
会長	菅野 吉三	42	機械
副会長	佐藤 忠司	40	土木
	丹治 茂雄	40	機械
	大内 正人	44	電気
	津田 吉子	48	デザイン
監事	菊地 清義	44	電気
	佐藤 智子	47	デザイン
	鈴木 昭市	49	土木
会計	齋藤 実	46	機械
理事	渡辺 和成	39	機械
	大内 庄五郎	41	電子
	丹野 武志	41	土木
	星 光	42	機械
	阿部 昭一	42	土木
	安齋 喜八	42	土木
	本多 真道	42	土木
	野地 一司	44	機械
	尾形 巳芳	47	電気
	半澤 秋子	48	デザイン
	高橋 薫	49	機械
(兼事務局員)	山川 博徳	55	土木
	鈴木 新栄	57	機械
	佐々木久美子	57	デザイン
	渡辺 恵美子	57	デザイン
	大内 友子	59	デザイン
	朝倉 宏揮	62	土木
	高橋 周平	05	電子
	丹野 勇弥	07	土木
事務局 長	星 諒二		
事務局 次長	大柳 正三		
事務局・会計	小形 義元		
顧問	鈴木 清治		初代会長
	阿相 利和		前会長
	秋山 功一		学校長

会報委員会 委員長 丹治茂雄
委員 本田 正 鈴木新栄 高橋周平
事務局 大柳正三

個人情報保護法について

さて、皆様もご承知のとおり「個人情報保護法」が施行されます。私ども同窓会においても会員の皆様の個人情報について、管理の徹底・安全対策を充分に図って参ります。

なお、住所変更や個人情報についてのお問い合わせは、本会事務局にご連絡をお願い申し上げます。

福島県立二本松工業高等学校
同窓会事務局
tel 0243-23-0960

編集後記

学科改編にあたり、一年生は機械システム科・情報システム科・都市システム科としてスタートしました。従って現二年生が今まで機械科・電子科・土木科・工業デザイン科として現三年生の電気科が最後の生徒達となります。各科の内容はそれぞれシステム科に取り込まれることになるのでありますが、心持ちとしては何となく寂しく感じられます。しかし、敷地の中で新しい実習棟建設の槌音を聞くに付け新しい息吹を感じざるを得ません。今回は建設の記録ということで、流れを感じてもらえればと思い、時々スナップ写真を載せてみました。

事務局では多数の同窓生に会報を読んでそして見て頂ける様、準備しております。

クラス会や社内の同窓会などに活用下さい。

会報委員長 丹治 茂雄
委員 本田 正
鈴木 新栄
高橋 周平
事務局 大柳 正三



2004. 10. 20. 工業デザイン科
技能五輪全国大会出場激励



2004. 09. 06. カヌー一部
国体出場激励



2004. 07. 20. カヌー一部
選手権大会出場激励



2004. 10. 19. 水泳部
東北高等学校新人水泳競技大会出場激励



2004. 12. 17.
弓道部 東北大会出場激励



2004. 07. 20. 水泳部
東北大会出場激励